

# 日本外食新聞

THE JAPAN FOOD SERVICE NEWS

発行所  
株式会社 外食産業新聞社  
【本社】  
東京都千代田区錦町1-9-11 外食ビル4F  
〒100-0044 TEL:03-53671021 FAX:03-53671058  
http://www.gaiohaku.co.jp  
購読料 1年 15,750円(消費税・送料込み)



## 外食産業を… 動かす人々

企画  
代表取締役社長

### 田原 旬時氏

たはら じゅんじ

# 苦勞人が掴んだ居酒屋という「夢」

## 社員の「夢叶えられる暖簾分け」を

料理が苦手な母親が作って、感からシメ、配膳の準備もこなしたカレンが帰すかして、高校に行きななを好きだった一冊初め短冊と送函をもらったのは中学生の時、た。ハバシやカレンが「食べない年だ、母は働き出すべない年だ、入兄弟の長男、母と妹を助けた田原さんはこの頃、自ら料理を作るようになったという。母を助けたという思いの一方、家の事情で高校に行かないという行儀のない挫折後、母が手配して手配する

料理が苦手な母親が作って感からシメ、配膳の準備もこなしたカレンが帰すかして、高校に行きななを好きだった一冊初め短冊と送函をもらったのは中学生の時、た。ハバシやカレンが「食べない年だ、母は働き出すべない年だ、入兄弟の長男、母と妹を助けた田原さんはこの頃、自ら料理を作るようになったという。母を助けたという思いの一方、家の事情で高校に行かないという行儀のない挫折後、母が手配して手配する

感からシメ、配膳の準備もこなしたカレンが帰すかして、余すところのない店主に勤めたが、お返し使ひなまれて、工場の勤を辞め、パティン、コックと、設備万士の人生にそこの勤まった。20歳で勤めし、供をちらけるが、母を離婚、子供を助けるために、奨学金を借りて、卒業後、東京都府市小。不動産屋、店を借りられ、東京の外資で「暖簾分け」の社員を構

けた「夢」を叶えたいという小西は、自ら暖簾分けを始めた。その後、コンビニ刺さした生活に「暖簾分け」を目当てに出た。20年前のこと、小作という東京の外の街で、当時、25坪×900万円売った。あの身はないという大業に終わった。それから8年、立川と近郊で、今は東京都府市に2店舗を展開する。会社組織にして

【取材協力】